

令和3年度上半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市中央青少年会館	所管課	教育委員会 社会・青少年教育課
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	令和2年4月1日～令和4年3月31日		
選定方法	公募 <input type="checkbox"/> 非公募 <input checked="" type="checkbox"/>		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料	利用料金	料金徴収なし
指定管理委託料(年額)	35,136,992円		
施設の設置目的	青少年の健全な育成を図り、市民の教養の向上に資する。		
施設概要	貸 室:ホール、研修室(3)、練習室(2)、会議室(2)、和室(2) フリースペース:若者チャレンジ室、ボランティアスタッフルーム、スタディールーム、アートスペース、ミニキッチン、ラウンジ		

●利用状況

		R3 上半期	R2 下半期	R2 上半期	R1 下半期	R1 上半期
利用者数(単位:人)		9,642	11,306	7,906	13,692	15,225
各室稼働状況(%)	会議室1	46.5	37.2	32.9	51.2	50.2
	会議室2	52.5	40.2	39.7	49.2	47.5
	和室1	16.4	29.4	24.4	33.1	36.1
	和室2	31.0	32.8	31.9	41.8	42.5
	研修室1	41.3	38.9	31.3	45.4	41.1
	研修室2	38.7	38.7	28.5	37.3	33.9
	研修室3	27.2	24.8	23.3	40.3	31.1
	練習室1	65.0	48.5	56.3	64.8	65.9
	練習室2	70.8	49.5	47.9	59.3	68.9
	ホール	61.7	52.5	45.7	61.1	57.1

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守	①岐阜市青少年会館条例施行規則を遵守している。
	②適切な人員配置	②勤務ローテーション表を使用するなどして、計画的に人員を配置している。また、教員OBや社会福祉主事資格を有する職員を配置し、その経験や専門性を活かせるよう配慮している。 一般職員 2人 (社会福祉主事 1人) 常勤嘱託職員 1人 普通嘱託職員 2人 臨時職員 1人 (全6人のうち教員資格保有者兼教職OB 2人)
	③広報の方策	③広報誌ふ、館内掲示、チラシ、ホームページ、SNS等で広く提供している。
	④苦情への対応	④会館利用者に対してアンケートを実施し、要望や苦情を的確に把握し、速やかに対応している。また、毎月館内会議を開き、接客態度の向上に努めている。

区分	確認事項	履行状況
指定事業・ 自主事業	指定事業 ①青少年団体や青少年育成団体の活動拠点	指定事業 ①活動拠点支援事業 ・上半期利用状況:利用者数 9,293人 利用団体数 671団体 【コロナ対策による利用時間の制限等】 4月27日～5月23日 夜間利用停止(20時閉館) 5月24日～6月20日 臨時休館 8月18日～8月19日 夜間利用停止(20時閉館) 8月20日～9月30日 臨時休館 ※令和3年上半期開館日数82日(令和2年上半期95日)
	②自立支援が必要とされる若者への支援	②若者対象支援事業 ・若者チャレンジアップ講座:上半期 3講座開催 参加者 延べ34人 ・フリースペース活動:上半期 6講座開催 参加者 延べ105人 (コロナ対策により開催回数縮小) ・居場所機能:エールぎふと連携し、若者相談を実施。 (上半期 若者相談件数 8件) エールぎふV係との情報共有・連絡協議の実施 「子ども・若者支援ネット岐阜」への参加、情報共有 若者や青少年を巻き込んだイベントの企画・実施 ミニイベントの開催による安心できる施設づくり
	③自立支援が必要な若者の家族やその支援者への支援	③支援者対象事業 ・若者支援クローズアップ講座あなたの一步をサポートします: 上半期 4講座開催 参加者 82人 ・主に青少年とその保護者を対象とした教育相談 上半期相談件数:81件
	④青少年への学びの場の提供	④青少年の学びを支援 ・地域貢献スキルアップ講座:上半期2講座 非常事態宣言により中止 ・学習拠点支援事業 ・小中高生にスタディールームや空き部屋を学習ルームとして提供 上半期利用者数: 665人 ・サタデー・サンデースクール 困り感のある子どもにとって心地よい居場所となるようなサードプレイスとしての活用を図っている。 上半期利用者数: 69人 ・オンライン学習支援「おもしろ教室」の配信 上半期にも追加し9月末現在 325教材を配信 ※おもしろ教室教材を職員の手作りで作成し、自由に利用できるようHPやYouTubeで配信した。
	⑤市の中核的青少年会館として、他の4会館との連携	⑤4館との連携 ・館長会での情報共有や事業実施、施設管理方法等の審議 ・5館での事業実施(サタデー・サンデースクール、青年講座、子ども会サポートプラン、岐阜版アダプトプログラム など) ・エールぎふとの連携を強化し、5館でのサテライト支援体制を構築し、サードプレイス機能の充実を目指している。(中青・青少年ルーム等での実績)
	自主事業 ①子ども会サポートプラン	自主事業 ①子ども会サポートプラン 上半期サポート件数 3件
	②親子でチャレンジアップ!伊自良川で川遊び	②親子でチャレンジアップ!伊自良川で川遊び 7月25日実施 参加者数 8家族 20人

<p>施設管理</p>	<p>①日常・定期清掃業務</p> <p>②警備業務</p> <p>③ねずみ、害虫等の防除等</p>	<p>①日常清掃:職員による施設内外の清掃を実施 施設利用後の職員による消毒作業の実施 定期清掃:アダプトプログラムによる「明德ポケットパーク」の清掃</p> <p>②職員による日常点検:開館日に職員が出勤時と退勤時に安全点検を実施。</p> <p>③害虫等を発見した場合はその都度薬品を使用しない捕殺を実施。</p> <p>・施設内において、三密の回避、ソーシャルディスタンス確保のサイン、スタディールームの仕切りの設置などを実施 新型コロナウイルス感染拡大防止策の徹底 ・職員による定期安全点検の実施 ・医薬品(応急処置用、熱中症対応用保冷剤等) ・防災用品(緊急放送ラジオ、職員用ヘルメット・寝袋)の常備 ・吐しゃ物処理セットの常備(ノロウイルス対策)</p> <p>その他、施設・設備等の管理については、仕様書・事業計画書のとおり業務を遂行している。</p>				
<p>施設修繕</p>	<p>下記の観点からの修繕実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備 	<p>○迅速な修繕の実施(利用者からの指摘)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者とのコミュニケーションを重視し、窓口での声掛けや利用後の要望などの聞き取りを行っている。 ・利用者アンケートに施設への要望等の欄を設け、利用者からの声を収集することで、ニーズや不備に対し迅速に対応している。 ・職員による日常点検において施設の不備や安全確保に努めており、発見した場合は可能な限り職員で修繕対応を行っている。 <p>修繕実績(業者による対応)</p> <table border="0"> <tr> <td>パソコンキーボード修理</td> <td>13,200円</td> </tr> <tr> <td>全1件実施</td> <td></td> </tr> </table> <p>○職員による主な修繕・整備事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UVカットフィルム設置 ・利用後の消毒清掃 ・防犯カメラ増設 ・カーテン洗浄 ほか 	パソコンキーボード修理	13,200円	全1件実施	
パソコンキーボード修理	13,200円					
全1件実施						
<p>危機管理・法令遵守</p>	<p>①個人情報の保護</p> <p>②非常時の対応策</p> <p>③関係法令の遵守</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の保護体制について、窓口での表示やホームページでの公開を実施 ・「特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針」「特定個人情報取扱規程」を制定 ・個人情報保護担当者を配置 ・「個人情報保護宣言」表示を継続 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内において、三密の回避、ソーシャルディスタンス確保のサイン、スタディールームの仕切りの設置などを実施 新型コロナウイルス感染拡大防止策の徹底 ・職員による定期安全点検の実施 ・医薬品(応急処置用、熱中症対応用保冷剤等) ・防災用品(緊急放送ラジオ、職員用ヘルメット・寝袋)の常備 ・吐しゃ物処理セットの常備(ノロウイルス対策) ・「青少年会館危機管理マニュアル」の設置 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「不当要求防止責任者選任事業所」プレート設置継続 ・岐阜市青少年会館条例及び施行規則に則り、「青少年会館業務マニュアル」を作成し、利用上の諸問題やトラブルへの対応について対策を共通理解し、職員全員が同様の対応ができるよう努めている。 				

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>①施設利用者アンケート ・全ての施設利用団体(代表者)に利用する度に手渡しでアンケートを実施。</p> <p>②主催事業参加者アンケート ・講座参加者に手渡しでアンケートを実施。</p> <p>③アンケート週間「利用満足度アップアンケート」 ・期間中代表者だけでなくすべての来館者に対して、アンケートを実施。</p> <p>④「常設アンケート」の実施と「あと一声運動」による聞き取り調査を継続。(対象:施設利用者)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>①施設利用者アンケート 「利用回数について」 662件 初めて:16件 2.4% 複数回:646件 97.6%</p> <p>「全体の満足度について」 大変満足:57.4% 満足:34.3% 普通:8.3% 不満:0.0% 大変不満:0.0% (91.7%)</p> <p>「施設設備について」 大変満足:58.2% 満足:33.4% 普通:8.3% 不満:0.1% 大変不満:0.0% (91.6%)</p> <p>「職員の対応について」 大変満足:58.0% 満足:33.1% 普通:8.8% 不満:0.1% 大変不満:0.0% (91.1%)</p> <p>【主な意見】 「三密の対策ができていて、安心して利用できました。」 「いつも気持ちの良い対応をいただき感謝しています。」 その他感謝の声多数</p> <p>【苦情・要望】 「難聴者用の投影機がない。設置を要望します。」</p> <p>②主催事業参加者アンケート</p> <p>■親子でチャレンジ！伊自良川で川遊び： (①とても良い・②良い・③もう少し・④良くない)</p> <p>「講座全体の満足度」 ①:100% ②:0% ③:0% ④:0% (100%)</p> <p>「親子で活動すること」 ①:100% ②:0% ③:0% ④:0% (100%)</p> <p>「川の生き物を捕まえる体験」 ①:75.0% ②:25.0% ③:0% ④:0% (100%)</p> <p>「人とのふれあい」 ①:100% ②:0% ③:0% ④:0% (100%)</p> <p>【主な感想】7月「親子でチャレンジ！伊自良川で川遊び」より ・川の魚について親子で理解できました。 ・自然とふれあう事ができて、とても良い時間をすごせました。 ・スタッフの方々がとても親切に接していただけ、感謝します。 ・大人も楽しむことが出来たので想像以上でした。 ・初めての川遊びでした。最初はどんな感じだろうと思っていましたが、丁寧に説明して頂き、いざ川に入ると、たくさん魚を捕まえる事ができて、親子共々大変楽しむ事ができました。</p>

<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>■若者支援クローズアップ講座:</p> <p>(①とても良い・②良い・③もう少し・④良くない)</p> <p>「子ども、若者との対話から見えてくる彼らの困難と希望」 ①:86.7% ②:13.3% ③:0% ④:0% (100%)</p> <p>「学校における児童虐待対応について」 ①:37.5% ②:62.5% ③:0% ④:0% (100%)</p> <p>「不登校やひきこもりの子どもたちへの支援のあり方」 ①:90.5% ②:9.5% ③:0% ④:0% (100%)</p> <p>「性の多様性の現状と悩んでいる子どもたちへの支援のポイント」 ①:78.6% ②:21.4% ③:0% ④:0% (100%)</p> <p>【主な感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校は学校行けば、ひきこもりは仕事に行けば解決するのかもしれないという話が印象的でした。 ・出番をつくる。誰かの役に立つことが自分のためになる。不登校を悪ととらえるのではなく認める。認めないと先に進めない。 ・子どもの小さな変化に気づく目を持つことが大切だと感じた。 ・どんなことがあっても見捨てないという強い意志を子どもに対して持つことが何よりも大切だと感じました。 ・「マジョリティの特権」についてはもっと学びたいと思いました。 ・今一度自分の在り様を見つめなおす良い機会を与えていただけました。 <p>■若者チャレンジアップ講座:(感想を記載)</p> <p>【主な感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新曲の提案時に、自分の言うことなんて否定されると思ったけど、遠慮しないでズバッと行ってよかった。 ・とても久しぶりのサテライトわおんで、また皆さんと演奏ができたのが嬉しかったです。 ・昨年よりも自信をもって音を出せました。新曲もしっかりと覚えて頑張りたいです。 ・新しい文字の書き方でいろんな書き方をして楽しめた。太ペンを使い、字体を崩して書いた。とても楽しかった。 ・自由に楽しみながら習字ができました。それぞれの個性がでておもしろかったです。 ・竹で初めてスプーンを作りました。とても大変だけど、とても楽しかったです。 <p>③アンケート週間「利用満足度アップアンケート」 実施期間: 9月15日～ 9月28日実施予定 ➡ 9月30日まで臨時休館延長のため上半期は実施せず</p> <p>④常設アンケート 実施期間:通年 回収枚数:0枚</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対応・改善</p>	<p>利用者から寄せられた意見等に対して、軽微な要望、修理、改修等については職員で速やかに対応するほか、業者対応を要するものについては見積もりを依頼し、後日対応している。</p> <p>【主な意見と対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2階トイレスリッパが館内スリッパと間違える」 ⇒トイレのスリッパを買い替え、わかりやすいサンダルにしました。 ・「防音扉の操作が分かりにくい」 ⇒職員で表示を貼り、操作を分かりやすくしました。 ・「大きな声や音が気になる(スタディールーム利用者)」 ⇒利用団体へ声を抑えるようお願いし、廊下に「勉強中です。お静かにお願いします。」の掲示をしました。

<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>○評価委員会の意見</p> <p>○「おもしろ教室」(学習プリント)について</p> <p>①ダウンロード数を明記するとよい。</p> <p>②ホームページ上、コンテンツ数が多すぎて見づらいため、構成を整理するとよい。</p> <p>③印刷はハードルが高いため直接タブレット上で学習が実施できるよう工夫するとよい。</p> <p>【取組状況】</p> <p>①⇒おもしろ教室は、単なる問題集や学習プリントではない。よって、子ども達が自学自習のために1人で取り組むことを目的に作った教材にはあたらない。「親子で」などと示してある教材があるように、子ども達と、そして寄り添ってみていただける保護者の方や教員のみなさんが、おもしろ教室教材を読み、やってみて、各教科などの面白さや不思議さに、子どもと共に感じていただくことを願って作成している。したがって、ダウンロード数で本教材の評価をすることは望んでいない。</p> <p>とはいえ、評価することは大切である。いま、会館として実施していることは、おもしろ教室教材を「4館の講座で取り上げ」たり、「サタデー・サンデースクールで活用」し、参加人数をカウントしている。この上半期における講座参加人数は43人、サタデー・サンデースクール活用人数は58人である。</p> <p>②⇒評価委員会のご指摘の通りと考えホームページの構成を見やすいものに改善した。</p> <p>③⇒問題集や学習プリントではないので、基本は、「タブレット上で教材を見て、手元のノートや用紙で考えを深めたり、体験したりする。」ことと考えている。</p> <p>実際に、サタデー・サンデースクールで活用する際には、印刷しないで使っている。</p>
<p>今後の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年のサードプレイスとして、居場所機能の充実を図る。 ・エールぎふや草潤中学校、ドリームシアター岐阜、少年自然の家等との連携に取り組む。 ・青少年に対する情報発信力の強化を図る。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
I 公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	(1)平等利用を確保するための体制、 モニタリングなど	年少者から高齢者、障がい者など幅広い層に、要望、改善点についての意見を聞き、これをもとに協議して、円滑で公正な施設運営に努めているか。	S	A	A
		(2)情報公開、広報の方策	利用規程、主催事業案内、活動内容等をパンフレットやホームページ、広報ぎふ等に掲載し、情報提供を図っているか。	S	S	S
		(3)個人情報を保護するための方策	個人情報保護規定を制定し、個人情報の保護や情報公開の取り扱いについて、十分配慮しているか。	A	A	A
		(4)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
		区分評価				
II 効果性	事業計画書 の内容が、 対象施設の 効用(設置 目的)を最大 限発揮する ものである こと	(1)既存業務の改善、工夫又は新規の 魅力的な提案の有無、内容	各種講座の充実・拡大、相談室の開設により青少年の健全育成に寄与しているか。	S	S	S
		(2)利用者ニーズ、苦情などの把握方 法及び対応方策など	利用者・講座受講生に対してアンケート調査を行い、結果を集約し、改善に努めているか。	A	A	A
		(3)利用者に対するサービス向上の方 策	講座受講生や利用団体に対しアンケートを実施し、要望や満足度を調査し、事業展開や職員の接遇等に生かしているか。	S	S	S
		(4)利用促進、利用者増の方策	施設紹介や主催事業のPR活動とともに、新規の事業開拓に努め、利用拡大を図っているか。	SS	S	S
		(5)サービスの質を確保するための体 制、モニタリングなど	質の高いサービスを維持するために、利用者の声や意見を把握し、施設運営に取り入れるシステムや相談窓口を設けている。	A	A	A
		(6)施設の効用(設置目的)を最大限 発揮できるスタッフの配置	青少年会館の設置目的を踏まえつつ効率の良い施設管理を行うために、管理及び運営にバランスのとれた人材を配置しているか。	S	A	A
		(7)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
		区分評価				
III 効率性	事業計画書 の内容が、 管理経費の 縮減が図ら れるもので あること	(1)指定管理経費の妥当性(サービス とコストのバランスなど)	利用者へのサービスを低下することなく、コストの縮減に努めているか。	S	A	A
		(2)収支計画の妥当性	削減できる予算、プラスしなければならない予算について、検討、研究しているか。	A	A	A
		(3)管理経費縮減の具体的方策	安定性・安全性を損なわない範囲で、具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。	S	S	S
		(4)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
		区分評価				

IV 安定性 安全性	事業計画書 に沿った管理 を安定して 行う物的 能力、人的 能力を有し ていること	(1)経営基盤の安定性	公益事業に精通した団体で、物的能力、人的能力、専門的能力を有しているか。	A	A	A
		(2)スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	職員の担当や勤務時間を工夫し、より効率よく業務ができるように配置しているか。	A	A	A
		(3)組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	各職員の専門知識や経験が職務分担に活かされているか。	SS	S	S
		(4)スタッフの管理、監督体制	より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤務しやすい職場環境ができているか。	S	S	S
		(5)スタッフの人材育成の方策	各種職員研修会を行い、職員の資質向上を目的とした研修計画書が作成されているか。	A	A	A
		(6)リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	夜間防犯対策・安全点検・館内外の巡回・日常清掃・消防訓練等を実施しているか。また緊急事態における対応が確認されているか。	S	S	S
		(7)リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	①会社更生法や民事再生法、破産法に基づき更生、再生、破産手続きの申立てをしていないか。 ②市税等の滞納はないか。	S	S	S
		(8)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
	区分評価					A
V 貢献性	事業計画書 の内容が、 岐阜市ある いは施設が ある特定の 地域(以下 「地元」と いう。)の振 興、活性化 などに貢献 できるもの であること	(1)地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地元の法人や青少年団体、ボランティア組織等との連携に努めるとともに、その育成に取り組んでいるか。	S	A	A
		(2)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用	施設の維持管理等のため、従事者を雇用する場合、地元の住民等の雇用に留意しているか。	A	A	A
		(3)地元での資材等の調達	資材購入にあたっては、地元の業者による調達に留意しているか。	A	A	A
		(4)地元での社会活動等への参加	地元で実施される社会活動等への積極的な参加に努めているか。	S	S	S
		(5)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
	区分評価					A

指定管理者の評価(A以外)に対する所管課の意見

I 公平性透明性(住民の平等利用が確保されること)

(1) 平等利用を確保するための体制、モニタリングなど

年少者から高齢者、障がい者など幅広い層に、要望、改善点についての意見を聞き、これをもとに協議して、円滑で公正な施設運営に努めているか。

指定管理者の意見			
履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと)	実績(成果、効果)数値		評価
	基準(前)	現在(後)	
【充実】 ①LGBTsへの正しい理解と公共施設の職員としての対応や施設の在り方を学ぶ ・LGBTs集いと支援の場ぎふ・ぱすぽーと共同代表の雪斎氏を講師に、「性の多様性の現状と悩んでいる子どもたちへの支援のポイント」として講演いただき、正しく理解を深めるとともに、施設における対応のポイントを学ぶことで、あらゆる市民の平等利用に取り組みました。	・性の多様性への理解や現状について、また、個性として理解することを学んだ。	・多様化する性認識の中で一律の対応ではなく、どんな対応を求めているかを理解し、 個に寄り添った対応が不可欠であることを 、全職員が理解した。	S
【継続】 ②外国人や難聴者を想定した窓口業務及び避難訓練 ・通常に日本語等でのコミュニケーションが取りにくい利用者に対する窓口業務及び避難訓練の工夫 ・アプリ「こえとら」により難聴者に対する対応を実施。また、外国人や難聴者に対して、サインボードややさしい日本語を活用した避難誘導訓練を実施。		・タブレットによる難聴者に対する窓口業務 ・視覚で認識し易いサインボードを使用した避難誘導訓練を実施した。	
所管課の意見			評価
LGBTsの講座は、既存の講座の範囲で内容を一部変更したものであるため、要求水準の範囲内であるためこの評価とした。			A

I 公平性透明性(住民の平等利用が確保されること)

(2) 情報公開、広報の方策

利用規程、主催事業案内、活動内容等をパンフレットやホームページ、広報ぎふ等に掲載し、情報提供を図っているか。

指定管理者の意見			
履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと)	実績(成果、効果)数値		評価
	基準(前)	現在(後)	
【新規】 ①フリースペースを活用した居場所事業の啓発 ・活動内容や開催日カレンダーを掲載した チラシを作成し、市内小中学校全児童生徒へ配布した。		電話での問い合わせ、新規参加者があり、 チラシ配布の効果があつた。	S
【充実】 ②青少年に知ってほしい情報をわかりやすく発信している。 ・「SDGsを考えてみませんか？」 ・「SDGsと東京オリンピック(パラリンピック)」 ・「SDGsと海洋プラスチック」 ・SDGsについて、クイズ形式で理解を深め、タイムリーな話題からその取り組みを理解し、 身近な環境問題をテーマに自分でもできることを考える取り組み となっている。	七夕やクリスマスといったイベントから始まったミニイベント掲示であり、来館しやすい雰囲気づくりや楽しさを提供している。	楽しいイベントだけでなく、 青少年に知ってほしい情報をわかりやすく伝え、参加型の掲示 を行っている。	
所管課の意見			評価
市内小中学校の全児童生徒へチラシを配布し、掲示へ熱心に取り組んだ内容は、要求水準をやや上回るためこの評価とした。			S

II 効果性(事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること)

(1) 既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容

各種講座の充実・拡大、相談室の開設により青少年の健全育成に寄与しているか。

指定管理者の意見			
履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと)	実績(成果、効果)数値		評価
	基準(前)	現在(後)	
<p>①新規事業の開催と講座事業の充実</p> <p>【新規】 ・自主事業「親子でチャレンジアップ！伊自良川で川遊び」を開催した。</p> <p>【充実】 ・若者支援クローズアップ講座を実施。(4回) ・昨年開催時のアンケートや要望を踏まえ、テーマや講師を選定し、コロナ対策を取ったうえで、対面講座を実施した。また、WEBでの申し込みを新規に行った。</p>	<p>臨時休館中のためWEB配信講座として実施。</p>	<p>・参加者からの満足度は100%。少年自然の家が協力した。 ・受講者アンケートによる改善・充実を図った。満足度は各回100%。</p>	S
<p>②居場所機能の拡大</p> <p>【新規】 ・草潤中学校との連携として、放課後の自主学習支援を実施。</p> <p>・他人との同室利用が苦手であることから、若者チャレンジ室などの別室を提供。</p> <p>【充実】 ・若者支援フリースペース活動の拡大を図った。 ・活動内容にダンスやバランスボール、竹工作などを加えた。</p>	<p>月2回開催。</p>	<p>・3名の生徒が自主学習に来館。 (延べ8人、6日)</p> <p>月4回開催。 活動メニュー拡大</p>	
所管課の意見			評価
<p>新規講座を開催したり、草潤中学校との連携をスタートさせ自主学習支援を進めたりと、要求水準をやや上回る内容を履行しているため、この評価とした。</p>			S

II 効果性(事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること)

(3) 利用者に対するサービス向上の方策

講座受講生や利用団体に対しアンケートを実施し、要望や満足度を調査し、事業展開や職員の待遇等に生かしているか。

指定管理者の意見			
履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと)	実績(成果、効果)数値		評価
	基準(前)	現在(後)	
<p>【新規】 ①WEBによる講座申し込みの導入 ・主に教員や支援者を対象とする「若者支援クローズアップ講座」において、昨年度の参加者意見を反映し、WEB申し込みを導入した。</p>	<p>・昨年度はEメールにて申込受付を実施。</p>	<p>・2次元コードからWEB申し込みサイトにアクセスし、申し込みができるようにした。便利になったと好評である。</p>	S
<p>【改善】 ②居場所環境の快適性向上 ・利用者の声を受け、スタディールームと若者チャレンジ室をリニューアルし、居場所環境の整備を行った。 ・机といすの変更 ・カーテンを外し、UVカットフィルムをガラス窓に貼り、明るくなった ・サタデー・サンデースクールや教え合い学習に合うレイアウトに変更</p>	<p>・折り畳みパイプ椅子と長机</p>	<p>・事務用椅子と一人用の机に変更した。「長時間学習していても疲れなくていい。」「より学習しやすくなった」との声をいただいた。</p>	
所管課の意見			評価
<p>講座のWeb申し込みを導入したことや施設の環境整備に尽力していることは、要求水準をやや上回る内容であり、この評価とした。</p>			S

II 効果性(事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること)

(4) 利用促進、利用者増の方策

施設紹介や主催事業のPR活動とともに、新規の事業開拓に努め、利用拡大を図っているか。

指定管理者の意見			
履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと)	実績(成果、効果)数値		評価
	基準(前)	現在(後)	
【新規・充実】 ①フリースペースを活用した居場所事業の啓発と活動内容の拡大 ・活動内容や開催日カレンダーを掲載したチラシを作成し、市内小中学校全児童生徒へ配布した。 ・若者支援フリースペース活動の拡大を図るため、開催日を増加し、活動メニューにダンスや竹工作などを加えた。	月2回開催。	電話での問い合わせ、新規参加者があり、チラシ配布の効果があつた。 月4回開催。 活動メニュー拡大	SS
【新規】 ②草潤中学校との連携として、放課後の自主学習支援を実施した。 ・他人との同室利用が苦手であることから、若者チャレンジ室などの別室を提供し対応した。		3名の生徒が自主学習に来館している。(延べ8人、6日)	
【拡大】 ③高校生の利用拡大 ・高校文化系部活動を応援するための「中青フォトステーション」を設置しており、岐阜高校写真部のみなさんの作品を展示している。これにより岐阜高校生に中央青少年会館への周知が広がり、施設利用の拡大が図れた。		文化祭のクラス発表練習会場として5団体15回の利用につながった。	
所管課の意見			評価
フリースペースを活用した居場所事業の拡大に伴い、利用の機会を創出したことは要求水準をやや上回る内容であり、今後、さらに様々な利用者の利用へつながることを期待し、この評価とした。			S

II 効果性(事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること)

(6) 施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置

青少年会館の設置目的を踏まえつつ効率の良い施設管理を行うために、管理及び運営にバランスのとれた人材を配置しているか。

指定管理者の意見			
履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと)	実績(成果、効果)数値		評価
	基準(前)	現在(後)	
【改善】 ①職員の専門性やスキルを活用した事業展開 ・教員OB等の専門性を活かし、小中学生を対象としたサタデー・サンデースクールを実施した。コロナ禍の中で、昨年度以上に個に寄り添った丁寧な学習支援や教育相談を展開した。	R2年度上半期 サタデー・サンデー スクール参加者数と 指導者数 ・参加者数21人 ・指導者数13人	R3年度上半期 サタデー・サンデー スクール参加者数と 指導者数 ・参加者数69人 (48人↑) ・指導者数17人 (4人↑)	S
所管課の意見			評価
教師の特性を活かした人材配置については、要求水準の範囲内であるため、この評価とした。			A

Ⅲ 効率性(事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること)

(1) 指定管理経費の妥当性 (サービスとコストのバランスなど)

利用者へのサービスを低下することなく、コストの縮減に努めているか。

指定管理者の意見			
履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと)	実績(成果、効果)数値		評価
	基準(前)	現在(後)	
【新規・充実】 ①コストをかけないサービスの向上 ・旧市庁舎廃棄備品の再利用(机、椅子、パーテーション等) ・職員による電気工事やカーテン洗浄、エアコンフィルター洗浄など		スタディールーム、若者チャレンジ室等に利用 電気工事士資格保有職員による防犯カメラ設置やカーテン洗浄など	S
【新規】 ②自主事業によるコストをかけないサービスの向上 ・自主事業の開催「親子でチャレンジアップ！伊自良川で川遊び」		事業団独自経費による開催 講師謝金15,000円 職員9人動員 事業満足度100%	
所管課の意見			評価
廃棄備品の活用や職員による簡易な修繕によりコスト縮減に取り組んでいることは評価でき、今後のサービス向上に繋がることを期待してこの評価とした。 新規講座の開催によるコスト削減についても、更なる事業工夫を期待する。			A

Ⅲ 効率性(事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること)

(3) 管理経費縮減の具体的方策

安定性・安全性を損なわない範囲で、具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。

指定管理者の意見			
履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと)	実績(成果、効果)数値		評価
	基準(前)	現在(後)	
【新規・充実】 ①コストをかけないサービスの向上 ・旧市庁舎廃棄備品の再利用(机、椅子、パーテーション等) ・職員による電気工事やカーテン洗浄、エアコンフィルター洗浄など ・消毒液等、5館分の中青一括発注による在庫管理と経費縮減		スタディールーム、若者チャレンジ室等に利用 電気工事士資格保有職員による防犯カメラ設置やカーテン洗浄など 消毒液、体温計等	S
【新規】 ②自主事業によるコストをかけないサービスの向上 ・自主事業の開催「親子でチャレンジアップ！伊自良川で川遊び」		事業団独自経費による開催 講師謝金15,000円 職員9人動員 事業満足度100%	
所管課の意見			評価
廃棄備品の活用や職員による簡易な修繕は評価できるため、この評価とした。			S

IV 安定性安全性(事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること)
(3) 組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など
 各職員の専門知識や経験が職務分担に活かされているか。

指定管理者の意見			
履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと)	実績(成果、効果)数値		評価
	基準(前)	現在(後)	
【改善】 ① 教員OBの専門性を活かした相談事業の展開 ・教育相談経験のある職員が、来館小中学生に言葉がけをしながら、困り感のある児童生徒に教育相談をした。 ・サタデー・サンデースクールで 寄り添った学習支援 をした。 ・学習支援と共に 学校・家庭・生活の困り感 を尋ねた。 ・ 信頼関係を構築し、個に寄り添った教育相談 を展開した。	R2上半期の教育相談件数 21件	R3上半期の教育相談件数 81件(60件↑) (260%↑)	SS
【新規】 ② オンライン教材「おもしろ教室」を活用した主催講座 ・「おもしろ教室」教材は閲覧するだけでなく、先生や保護者と共にその教材に挑戦し、教材の面白さを体験するところに価値があるため、主催講座で活用した。 ・教材制作者が講師のため 教材の真の魅力 がよく伝わった。 ・枠にとらわれない 自作教材のため、教科の内容や問題の不思議さ、作品の魅力 などを伝えることができた。	実績無し	R3夏期講座 おもしろ教室教材を活用した講座の状況 ・ことばであそぼう(国) 参加者8人 ・算数博士にチャレンジ1(算)参加者10人 ・算数博士にチャレンジ2(算)参加者9人+保護者2人 ・光アートづくり(図)参加者16人	
所管課の意見			評価
相談事業は、直営時には半年で100件程度の相談があった。休館期間があったことを加味すれば実績が良好であると評価できるためこの評価とした。 おもしろ教室についても講座での活用について、要求水準をやや上回る内容であるためこの評価とした。			S

IV 安定性安全性(事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること)
(4) スタッフの管理、監督体制
 より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤務しやすい職場環境ができているか。

指定管理者の意見			
履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと)	実績(成果、効果)数値		評価
	基準(前)	現在(後)	
【継続】 ① 職場環境向上の取り組み 「ぎふし共育・女性の活躍企業」の認定(岐阜市) 「岐阜市男女共同参画優良事業者」の表彰(岐阜市) 「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」の認定(岐阜県) 「基準適合一般事業主(くるみん)」の認定(厚生労働省)	○職場環境創造の視点から受けた認定 ・基準適合一般事業主(くるみん)(厚生労働省) ・岐阜県ワークライフ・バランス推進エクセレント企業(岐阜県) ・岐阜市共育・女性活躍企業(岐阜市) など	○職場環境創造の視点から受けた 継続認定 ・基準適合一般事業主(くるみん)(厚生労働省) ・岐阜県ワークライフ・バランス推進エクセレント企業(岐阜県) ・岐阜市共育・女性活躍企業(岐阜市) など	S
【新規】 ② 5館持ち回り館長会の実施と5館統括体制の具現 ・5館で館長会を実施し、各会館の地域性や施設設備を理解し、5館が互いに密な連携体制を構築した。 ・利用者目線に立ったフリースペースの有り方の交流・実施。 ・教育管理官をもとに事業・講座の具体的な連携	R2年度上半期の状況 ・館長会は、オンライン又は中青開催 ・5館の執務状況、施設設備の認識が薄い	R3年度上半期の状況 ・館長会は、オンライン又は 5館持ち回り開催 ・ 5館の情報共有	
所管課の意見			評価
職員が働きやすい環境を整備するための要件等の充足を図り、各種認定や表彰を受けたことは、要求水準の内容をやや上回る業務を履行しているとして、この評価とした。			S

IV 安定性安全性(事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること)

(6) リスクへの対応方策 (利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)

夜間防犯対策・安全点検・館内外の巡回・日常清掃、消防訓練等を実施しているか。また緊急事態における対応が確認されているか。

指定管理者の意見			
履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと)	実績(成果、効果)数値		評価
	基準(前)	現在(後)	
【継続】 ①全国各地の指定管理者との災害応援協定の締結 (内容)令和3年3月、全国各地の指定管理者と災害応援協定を締結した。 (工夫)各施設は緊急避難所等に指定されており、全国的な協定により、災害時の対応が極めて有効に働く。	令和3年3月締結 災害協定の内容と協定を締結した指定管理者数 (内容) ・人員派遣、支援物資の提供、募金等 ・全国9指定管理者	災害協定の内容と協定を締結した指定管理者数 (内容) ・人員派遣、支援物資の提供、募金等 ・全国9指定管理者	S
所管課の意見			評価
全国9つの指定管理者と災害応援協定を締結し、非常時のリスクに備えていることは要求水準をやや上回る内容のため、この評価とした。			S

IV 安定性安全性(事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること)

(7) リスクへの対応能力 (資金力、損害賠償能力など)

- ①会社更生法や民事再生法、破産法に基づき更生、再生、破産手続きの申立てをしていないか。
- ②市税等の滞納はないか。

指定管理者の意見			
履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと)	実績(成果、効果)数値		評価
	基準(前)	現在(後)	
【改善】 ①万が一に備えた傷害保険への加入 岐阜市が加入する保険とは別に、講座等開催時の傷害保険に加入した。なお、青少年会館の特性を踏まえた内容とした。 ・熱中症危険補償特約 ・青少年会館までの行程(行き・帰り)の補償	R2年度補償内容 ・死亡・後遺障害1千万円 ・入院保険日額5千円 ・手術保険金5万円 ・通院保険日額3千円	R3年度補償内容 ・死亡・後遺障害1千万円 ・入院保険日額5千円 ・手術保険金5万円 ・通院保険日額3千円	S
所管課の意見			評価
保険の補償内容は、令和元年度の保険の更新時に内容を拡充したことが継続されているため、この評価とした。			S

V 貢献性(事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化)などに貢献できるものであること)

(1) 地元の法人その他の団体の育成 (一部業務の再委託先)

地元の法人や青少年団体、ボランティア組織等との連携に努めるとともに、その育成に取り組んでいるか。

指定管理者の意見			
履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと)	実績(成果、効果)数値		評価
	基準(前)	現在(後)	
【充実】 ①地元高校文化系部活動の応援 ・高校文化系部活動を応援するための「中青フォトステーション」を設置。岐阜高校写真部のみなさんの作品を展示している。 ・SNSでの紹介。 ・華道部、美術部、書道部へのアプローチをしている。 ・4館の近隣高校とのアプローチを始めた。		当館での掲示は、コロナ禍によりイベント掲示がなくなり、作品を発表する機会がなくなった岐阜高校の皆さんに大変喜ばれている。	S
所管課の意見			評価
高校生に活躍の場を位置づけたよい取組みではあり、要求水準の範囲内の業務内容であるためこの評価とした。			A

V 貢献性(事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化)などに貢献できるものであること)

(4) 地元での社会活動等への参加

地元で実施される社会活動等への積極的な参加に努めているか。

指定管理者の意見			
履行状況(実施したこと、もしくは実施できなかったこと)	実績(成果、効果)数値		評価
	基準(前)	現在(後)	
【改善】 ①ぎふまち育て隊(アダプトプログラム)への参加 ・明德ポケットパークの清掃活動により、地域の美化活動を実施 ・日直業務に位置付け、全職員が分担して実施。(雨天時荒天時を除く) ・地域の方とのコミュニケーションを大切にされた。 ・地域の児童生徒の見守りを大切にするため、可能な日は児童の下校時に合わせて実施するなどの工夫をしている。	R2年度上半期 アダプトプログラムの状況(回数、人数) 計8回、9人	R3年度上半期 アダプトプログラムの状況(回数、人数) 計65回、65人 (58回↑、56人↑)	S
所管課の意見			評価
アダプトプログラムで清掃活動を実施し、参加回数も伸びているため、この評価とした。			S

●指定管理者評価委員会の意見

○地元高校文化系部活動の応援について、継続的に利用されるよう努められたい。